

会 議 概 要

件 名	第1回大網白里市学校給食事業検討審議会
日 時	令和元年9月9日（月）15時00分～16時10分
場 所	大網白里市役所別棟2階大会議室
出席者	片岡委員、佐藤委員、小坂井委員、川嶋委員、齋藤委員、渡邊委員、田中委員、 安川委員、葛西委員 事務局：深田教育長、古内管理課長、石井副課長、石渡副主査、三浦主任主事 〈欠席者〉 椎名委員、手塚委員、中古委員
傍聴者	なし
内 容	※進行：事務局 1. 開会 事務局 2. 委嘱状交付 9名に教育長から委嘱状を交付 3. 教育長挨拶 教育長 4. 委員自己紹介 各自自己紹介を行う 5. 委員長及び副委員長選出 互選により、川嶋委員を委員長に、渡邊委員を副委員長に選出 6. 議事（進行：委員長） （1）大網白里市学校給食事業検討審議会傍聴要領（案）について〈事務局より説明〉 委 員：今の時代、オープン化というのはとても大事で、逆にオープン化することで疑惑 を防ぐという意味で必要だと思う。とても適切なものだと思う。 →全委員承認後、傍聴要領の（案）をとり、傍聴者の確認（傍聴者なし）

(2) 大網白里市学校給食事業検討審議会の位置づけについて

(3) 大網白里市の小中学校における学校給食の現状について

(4) 今後の審議会の予定について

〈以上、(2)～(4)について事務局より説明〉

委員：今の段階でもきつい状況でやっているということは、消費税が10%になったらもっと大変になる。材料を減らすということは、子どもたちに十分にいきわたらなくなるので、少し値上げをした方が、おいしいものを作っていただけではないか。

委員：説明の中で、けっこう安価などか質を下げるというようなところが親としては少し不安。家庭でも「安いからいい」というよりは、安心安全を選びがちな時代になっていると思う。給食費を上げることによって、こういうことが少し改善されるというのか。それとも、増税分が上乗せされるというイメージなのか。

委員：今回の消費税増税で、食材の方の影響は軽減税率の関係で目に見えてはないが、メーカーの方は原料を買い、その加工などの手間賃や人件費等に影響があり、例えば、容量が今の段階では千円で500グラム買えたものが、400グラムになってしまうというようなことがある。コロッケなら、具のたくさん入ったコロッケと何も入っていないコロッケというようなイメージとか、ジャガイモをきちんとすり潰して、そこから作ったコロッケとマッシュポテトを工場などで購入して作ったコロッケでは値段が違う。一番簡単に作ってあるようなものがやはり質も、ジャガイモがコロコロしたコロッケよりは落ちるし、安いというようなことです。だからといって、食品添加物はいっているとか、そういうものは給食では使わない。材料として、安いものを使っているものを出しています。そして、お肉などは以前であれば油の量などで、今よりも若干いい部位のものを使えたけれども、質が下がってしまっている。とは言っても、お肉に関しては国産のものをみんな使っています。ですから、一定のレベルで維持しつつ、安いものを購入する工夫をして、なお、安全確保はしっかりしている。

→全委員承認

(5) 学校給食に関するアンケート調査結果について

(6) 県内市町村の学校給食費等について

〈以上、(5)及び(6)について事務局より説明〉

→全委員承認

(7) 学校給食に関する自由意見

事務局：アンケートで「給食の時間が少ないと思う」ということがどういうことなのか。

委員：食べる時間にゆっくり食べる子とすぐに食べ終わってしまう子という差はある。準備の時間と食べる時間と片付けの時間で給食の時間と決まっているのだけれども、その中で食べ終わらない子がいるということではないか。

委員：資料についてだが、社会教育では現実から学ぶという姿勢がとても大事である。
この資料は、調理する方の苦労や現実、また、食べる方の子ども及び保護者の現実もわかり、周辺市町村の現状もよくわかる資料となっている。

(8) その他

事務局より次回の開催日について連絡

7. 閉会

事務局